

大不況期の過ごし方を考える(3)

－自分の潜在能力を自分の力で発見し、自覚をもって学び続けよう－

開倫塾

塾長 林明夫

1. はじめに

Q：開倫塾の塾生である小学生・中学生・高校生であっても、この大不況を意識して生活したほうがよいのですか。

A：(林明夫。以下省略)開倫塾で学ぶ小学生・中学生・高校生であっても、既に起こってしまった厳しい現実としてこの大不況を意識し、学び続けたほうがよいと考えます。

2. 自分の潜在能力を自分の力で発見しよう

Q：では、どのように大不況期を過ごしたらよいのでしょうか。

A：まずは、自分の力で、自分の潜在能力を発見する努力をすることです。自分の中に潜在している、潜(ひそ)んでいる能力を自分の力で発見し、それを伸ばすことが大切と考えます。自分の長所・よさを自分の力で発見し、その長所・よさを自分の力で伸ばすこととも言えますね。

自分の潜在能力や長所を発見することは、一つの能力です。この能力を身に付けるために、身近な人の潜在能力や長所・よさを一つでもよいから見つける努力をすることを私はお勧めします。自分の家族や近所の人、友達、先生だけでなく、自分の住む地域や自分の通う学校、市町村、県、日本の潜在能力や長所・よさを一つでも自分の力で発見することで、この能力を身に付けることです。

自分自身のことは、意外と見えにくくわかりにくいので、自分以外の人やもの、社会の潜在能力や長所・よさを発見する訓練をすることで、自分の潜在能力や長所・よさを発見する能力を身に付けたらよいのではないかというのが私の考えです。

そのためには、人やもの、社会をよく見ること、観察することが求められます。どうか、温かい目をもって自分以外の人やもの、社会を見つめて、その潜在能力や長所・よさを一つでもよいから発見して下さい。自分自身のことも温かい目で見て、自分の潜在能力や長所・よさを一つでも自分の力で発見するよう努力して下さいね。

3. 自覚をもって学び続けよう

Q：自覚とは何ですか。

A：自分自身の立場・状態・能力などをよく知ること、わきまえることを「自覚」と言います。学力も含め能力を身に付けるのに何が大切かといえば、「本人の自覚」と「先生の力量」であると私は考えます。自分自身の立場・状態・能力などの中には、自分の潜在能力や長所・よさも入りますね。これらをよく知った上で学ぶことが大切です。

これに加えて、自分の不足する能力・改善すべき点、はっきり言えば短所・欠点も、自分自身の

力で発見し、そのことをよく知った上で、つまり「自覚」して学ぶことも大切です。だからといって、自分自身を責めないようお願いします。

Q：他の人にも短所や欠点がありますよね。

A：その通りです。誰にも短所や欠点があり、他人ほど本人以上によくわかるものです。だからといって、他人の短所や欠点は責めないことが大切です。本人のことを思い、どうしても言ってあげなければならないときには、よく言葉を選び相手のことを思いやりながらアドバイスしてあげて下さいね。

大不況の時は、仕事やお金まわりが以前と比べてよくなりますので、大人も子どもも皆カリカリすることが多くなると思われます。このような時こそ、自分を含め潜在能力や長所・よさを見つけて伸ばすようにし、他人の短所や欠点は口にしないほうがよいと思われます。自分と同じように、皆つらい思いをしているのですから…。

4. 「学び方を学ぶ」能力・スキルを身に付けよう

Q：どのように学んだらよいのですか。

A：「学び方を学ぶ」能力・スキルを身に付けることです。英語では Learning To Learn (ラーニング・トゥ・ラーン)と言います。ここで言う「学ぶ」は、英語の Learn(ラーン)ですから、一度 Study (スタディ)、つまり「理解」したことを「身に付ける」という意味です。一度「理解」したことをどう「身に付ける」、つまり「定着」させたらよいのか。その能力・スキルを一日も早く開倫塾で身に付けて下さいね。

5. おわりに

Q：最後に一言どうぞ。

A：開倫塾では、講習会や学期の初日に「開講式」を、各々の最終日に「修了式」を行います。その式の中では十分な時間をとり、また、毎回の授業中には3分間の「武者語り(むしゃがたり)」と称して、先生方が、人生とは何か、なぜ学ぶのか、なぜ進学するのか、進学して何を学ぶのか、どのように学んだらよいのかなどを、また、本や新聞の読み方、ノートの取り方などを少しずつお話するように努めています。ですから、塾生の皆様は、開倫塾の先生方のお話をノートにしっかりメモをして繰り返し読み、自分のものにして下さいね。

大不況は既に来てしまったような感じがしてなりません。だからといって、嘆き悲しんではられません。自分の潜在能力を自分の力で発見し、自覚をもって学び続けることで、この大不況期を乗り切っていきましょう。

皆様はどのようにお考えになりますか。

－ 2009年1月15日記－